

目標達成計画

事業所名 グループホームてるみ
作成日 平成 22 年 12 月 13 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所独自の理念は、全職員の意識づけや掘り下げの話し合いはこれからであり、日々のサービス提供場面における具体的ケアについての意識の統一を早急に進め、実践に繋げることを期待する。	全職員が理念を実践の中で活用する。	①会議や打ち合わせの中で、理念の取り組みについて議題として取り上げる。 ②実践の中で理念が活用できるように、介護員一人ひとりにその報告をしてもらう。	1年
2	4	会議の構成メンバーに、地域ボランティア、民生委員など、市民代表の幅広い参加を得て多様な意見を伺うと共に、サービス評価に対する改善・取り組み状況のモニター役として、サービス向上に活かすことを期待する。	施設の運営に関してアンケート調査を実施。	①アンケート用紙の内容の検討 ②アンケート依頼先の検討 ③回収方法 ④運営推進会議への報告	1年
3	26	利用者が自分らしく暮らし続ける支援を視点に介護計画の作成を考え、センター方式を検討中とのことであり、今後の取り組みを期待する。	センター方式を取り入れ実践する。	①基本帳票類の整備 ②センター方式の研修会（内部・外部） ③計画作成担当者から取り組みについての報告	6ヶ月
4	33	重度化や終末期の対応指針を作成し、やがて迎える入居者様の終末期を支えるために、日常の健康管理や急変時の度に段階的な合意を図ることを期待する。	重度化・終末期ケアのマニュアル作成	①マニュアルを基本に学習会を開き実践に役立つようにする。	1年
5	35	地域性から考えられる様々な災害に対し、季節・昼夜を想定した避難訓練を消防警察の指導と住民の協力を得た実践的な訓練の積み重ねを期待する。尚、災害時に備えて、食糧・飲料水などの準備も望まれる。	地域住民との合同避難訓練の実施 長期保存用の食糧・飲料水の整備	①地域交流会で提案し計画を立てる。 ②保存場所の検討	6ヶ月

目標達成計画

事業所名 グループホームてるみ
作成日 平成 22 年 12 月 13 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	49	利用者一人ひとりが、その人らしい暮らしの継続を視点に、行きたい場所や外出の希望を把握、思いに沿った外出ができるように家族や地域の人々の協力を得た外出支援を期待する。	外出支援は積極的に取り組んでいる。	外出届けが必要であり、介護職員の判断で外出するようになると、危険な場合もある。	実施中
7					
8					
9					
10					